

平成29年 労働基準法及び労働安全衛生法

〔問 3〕 労働基準法に定める労働契約等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- A 満 60 歳以上の労働者との間に締結される労働契約について、労働契約期間の上限は当該労働者が 65 歳に達するまでとされている。
- B 明示された労働条件と異なるために労働契約を解除し帰郷する労働者について、労働基準法第 15 条第 3 項に基づいて使用者が負担しなければならない旅費は労働者本人の分であって、家族の分は含まれない。
- C 使用者は、労働者が退職から 1 年後に、使用期間、業務の種類、その事業における地位、賃金又は退職の事由について証明書を請求した場合は、これを交付する義務はない。
- D 使用者は、労働者が業務上の傷病により治療中であっても、休業しないで就労している場合は、労働基準法第 19 条による解雇制限を受けない。
- E 派遣労働者に対する労働条件の明示は、労働者派遣法における労働基準法の適用に関する特例により派遣先の事業のみを派遣中の労働者を使用する事業とみなして適用することとされている労働時間、休憩、休日等については、派遣先の使用者がその義務を負う。

第49回(平成29年度)社会保険労務士試験の合格基準及び正答

1 合格基準及び配点

(1) 合格基準

本年度の合格基準は、次の 2 つの条件を満たした者を合格とする。

① 選択式試験は、総得点 24 点以上かつ各科目 3 点以上（ただし、雇用保険法及び健康保険法は 2 点以上）である者

② 択一式試験は、総得点 45 点以上かつ各科目 4 点以上（ただし、厚生年金保険法は 3 点以上）である者

※ 上記合格基準は、試験の難易度に差が生じたことから、昨年度試験の合格基準を補正したものである。

(2) 配点

① 選択式試験は、各問 1 点とし、1 科目 5 点満点、合計 40 点満点とする。

② 択一式試験は、各問 1 点とし、1 科目 10 点満点、合計 70 点満点とする。

2 試験問題の正答

試験科目 \ 出題形式	選択式					択一式									
	A	B	C	D	E	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
労働基準法及び労働安全衛生法	⑮	⑭	①	⑦	⑧	A	B	D	B	C	D	C	A	B	E